

2022年度（令和4年度）
第1回みんなのライフスタイル応援会議
会議資料

2022年（令和4年）11月24日
福山市企画政策部企画政策課

次第

1 人口減少の状況

- ・ 人口減少の状況－出生数の減少－
- ・ 転入転出の状況（転出超過が大きい年齢区分）

2 新卒採用者・子育て世代の意識調査

- ・ 新卒採用後5年以内の従業員の声
- ・ 子育て世代の従業員の声
- ・ 子育て世帯を対象とした座談会での意見

3 次年度の人口減少対策の方向性（案）

4 子育てパパ活躍ウィーク2022の実績（速報）

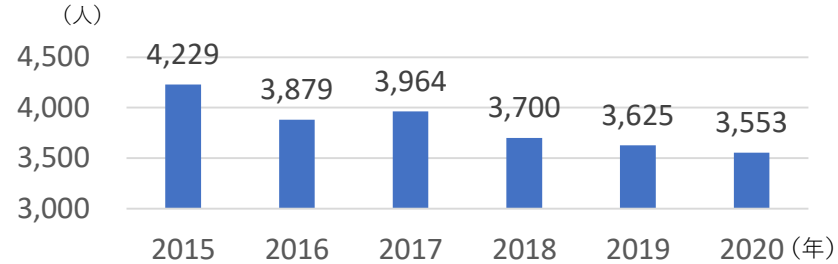
参考 これまでの人口減少対策の取組

1 人口減少の状況

1 - 1. 人口減少の状況 - 出生数の減少 -

【出生数】

- 2016年以降4,000人を下回る状況が継続



資料：福山市「福山市人口動態」

【15歳未満の人口】

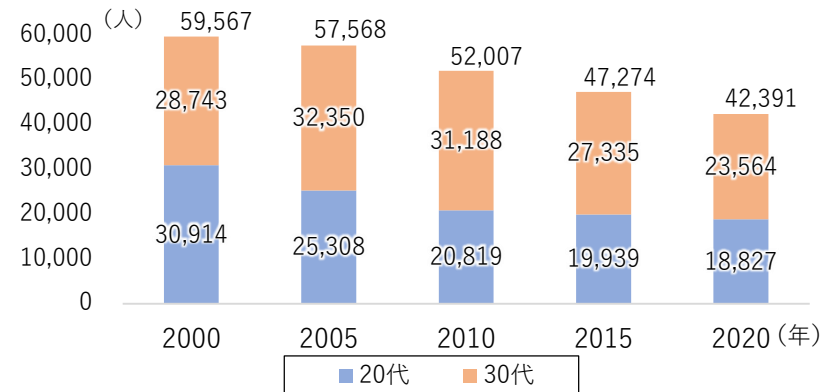
- 人口総数の減少率と比較して15歳未満の人口減少率が高い。

15歳未満			人口総数		
2015年	2020年	増減率①	2015年	2020年	増減率②
64,496	60,655	▲ 6.0	464,811	460,930	▲ 0.8

資料：総務省「国勢調査」

【20歳代・30歳代の女性の人口】

- 若い女性の数が減少
(2000年から20年で約17,000人減少)



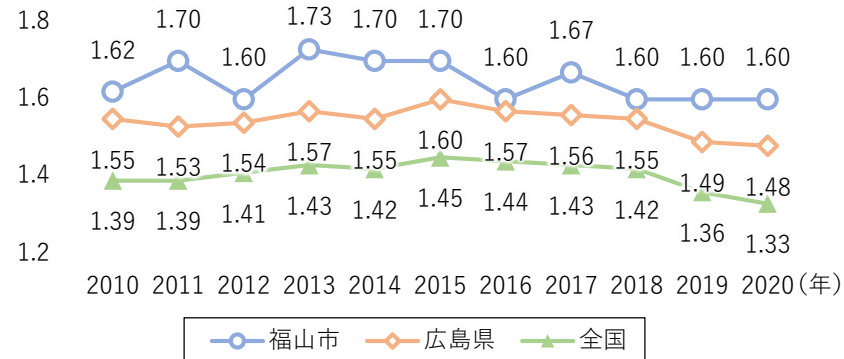
資料：総務省「国勢調査」

【合計特殊出生率】

- 全国や広島県と比べて、高い数値を維持



若い女性の人口減少が、出生数の減少に影響している。



資料：福山市「福山市人口動態」

1 - 2. 5年間の年齢区分別の変動状況

- 出生数の減少により、0～4歳の人口が約3,100人減少。
- 年齢区分別の5年間の変動では、高齢者を除き、「15歳～19歳」から「20歳～24歳」になる区分と「20歳～24歳」から「25歳～29歳」になる区分で大きく減少。
- これらの年齢区分では、特に女性の「15歳～19歳」から「20歳～24歳」になる区分で減少が大きい。

住民基本台帳登録人数（日本人）

年齢区分	男女計				年齢区分	男				年齢区分	女			
	2017	2022	2017→2022	5年間での変動数		2017	2022	2017→2022	5年間での変動数		2017	2022	2017→2022	5年間での変動数
0～4	20,362	17,246	▲ 3,116		0～4	10,407	8,986	▲ 1,421		0～4	9,955	8,260	▲ 1,695	
5～9	21,785	20,143	▲ 1,642	▲ 219	5～9	11,090	10,321	▲ 769	▲ 86	5～9	10,695	9,822	▲ 873	▲ 133
10～14	21,668	21,618	▲ 50	▲ 167	10～14	11,150	10,959	▲ 191	▲ 131	10～14	10,518	10,659	141	▲ 36
15～19	22,688	21,424	▲ 1,264	▲ 244	15～19	11,566	11,082	▲ 484	▲ 68	15～19	11,122	10,342	▲ 780	▲ 176
20～24	21,812	21,420	▲ 392	▲ 1,268	20～24	11,370	11,210	▲ 160	▲ 356	20～24	10,442	10,210	▲ 232	▲ 912
25～29	22,193	20,967	▲ 1,226	▲ 845	25～29	11,602	11,009	▲ 593	▲ 361	25～29	10,591	9,958	▲ 633	▲ 484
30～34	25,676	22,110	▲ 3,566	▲ 83	30～34	13,230	11,509	▲ 1,721	▲ 93	30～34	12,446	10,601	▲ 1,845	10
35～39	28,158	25,636	▲ 2,522	▲ 40	35～39	14,400	13,181	▲ 1,219	▲ 49	35～39	13,758	12,455	▲ 1,303	9
40～44	34,848	28,209	▲ 6,639	51	40～44	17,804	14,470	▲ 3,334	70	40～44	17,044	13,739	▲ 3,305	▲ 19
45～49	32,896	34,682	1,786	▲ 166	45～49	16,463	17,695	1,232	▲ 109	45～49	16,433	16,987	554	▲ 57
50～54	26,760	32,455	5,695	▲ 441	50～54	13,129	16,140	3,011	▲ 323	50～54	13,631	16,315	2,684	▲ 118
55～59	26,292	26,393	101	▲ 367	55～59	12,919	12,925	6	▲ 204	55～59	13,373	13,468	95	▲ 163
60～64	28,632	25,749	▲ 2,883	▲ 543	60～64	13,987	12,541	▲ 1,446	▲ 378	60～64	14,645	13,208	▲ 1,437	▲ 165
65～69	36,786	27,787	▲ 8,999	▲ 845	65～69	17,801	13,393	▲ 4,408	▲ 594	65～69	18,985	14,394	▲ 4,591	▲ 251
70～74	29,158	34,981	5,823	▲ 1,805	70～74	13,707	16,559	2,852	▲ 1,242	70～74	15,451	18,422	2,971	▲ 563
75～79	24,362	26,557	2,195	▲ 2,601	75～79	10,928	11,960	1,032	▲ 1,747	75～79	13,434	14,597	1,163	▲ 854
80～84	18,219	21,013	2,794	▲ 3,349	80～84	7,286	8,827	1,541	▲ 2,101	80～84	10,933	12,186	1,253	▲ 1,248
85～89	12,026	13,846	1,820	▲ 4,373	85～89	4,117	4,958	841	▲ 2,328	85～89	7,909	8,888	979	▲ 2,045
90～94	5,861	7,075	1,214	▲ 4,951	90～94	1,485	1,980	495	▲ 2,137	90～94	4,376	5,095	719	▲ 2,814
95～99	1,702	2,265	563	▲ 3,596	95～99	305	429	124	▲ 1,056	95～99	1,397	1,836	439	▲ 2,540
100～104	275	365	90	▲ 1,337	100～104	34	38	4	▲ 267	100～104	241	327	86	▲ 1,070
合計	462,159	451,941	▲ 10,218		合計	224,780	220,172	▲ 4,608		合計	237,379	231,769	▲ 5,610	

(2017年は9月末時点, 2022年は8月末時点) 4

1 - 3. 人口減少が大きい年齢層の転入転出状況

【人口減少が大きい年齢区分】

- ・ 若い女性の人口が減少し、出生数が減少し続けていることにより、**2017年から2022年の5年間で0～4歳の人口が約3,100人減少。**
- ・ **2017年から2022年にかけて、高齢者を除き、20歳～24歳になる区分と25歳～29歳になる区分の人口が大きく減少。**

【転出先・転出理由】

(20歳～24歳)

- ・ **男性では東京圏に対する転出超過が大きく、女性では関西圏に対する転出超過が大きい。**また、岡山市や倉敷市に対して、近年、女性の転出数が増加し、転出超過が拡大傾向。
- ・ 男性の東京圏、女性の関西圏ともに、**転出理由は、就職などの仕事関係で約8割に及ぶ。**また、岡山市、倉敷市に対しては、**女性で就職に伴う転出が増加している。**

(25歳～29歳)

- ・ **東京圏、広島市に対して転出超過となっており、女性に比べ男性で転出超過が大きい傾向。**
- ・ **東京圏に対する転出理由は、男性で、転勤や転業・転職といった仕事関係で約9割に及び、女性では、仕事関係で約7割、結婚等が約2割となる。**また、広島市、岡山市や倉敷市に対しては、男性で転勤、女性で結婚等に伴う転出が多い。

関連する世代の意識調査を実施（市内企業調査）

- ・ 新卒採用後5年以内の従業員に対するアンケート調査の実施【該当世代】
- ・ 子育て世代の従業員に対するアンケート調査の実施【若者定着に必要なことは何か】
- ・ 子育て世帯を対象とした座談会の実施【若者定着に必要なことは何か】

2 新卒採用者・子育て世代の意識調査

2-1. 新卒採用後5年以内の従業員の声

新卒採用後5年以内の従業員を対象としたアンケート調査

対象：福山地方雇用対策協議会会員企業の従業員

回答状況：67人

回答属性：年齢（20歳～24歳 31人，25歳～29歳 27人，30歳以上 9人）

性別（男性 47人，女性 20人）

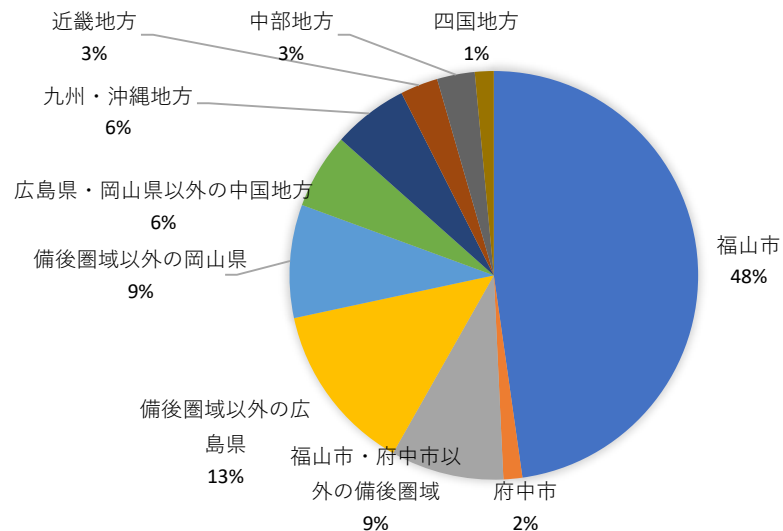
実施時期：2022年9月1日～9月16日（16日間）

【回答者の状況】

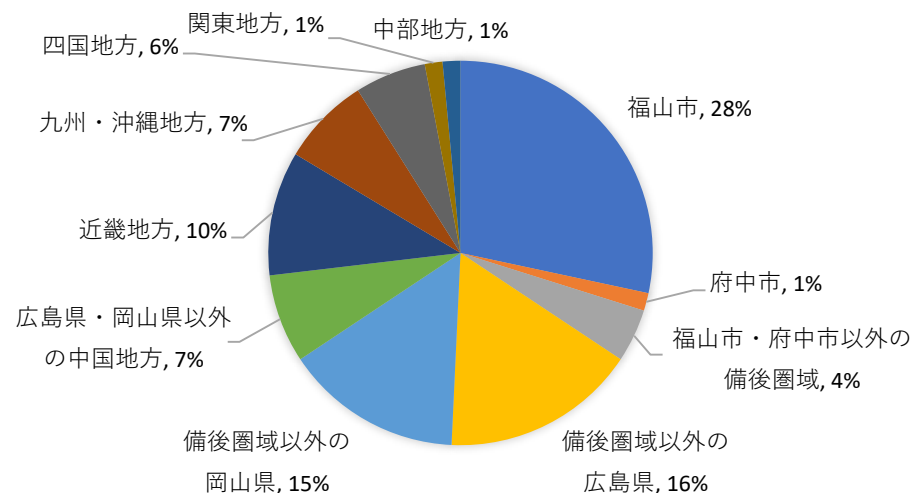
- ・ 約5割が実家が福山市・府中市
- ・ 福山市・府中市含め広島県・岡山県に実家があると回答した者は約8割

- ・ 卒業した大学・学校の所在地は約3割が備後圏域
- ・ 備後圏域を含めた広島県・岡山県と回答したものは約6割

実家の所在地 (SA)



大学等の所在地 (SA)



2-2. 新卒採用後5年以内の従業員の声

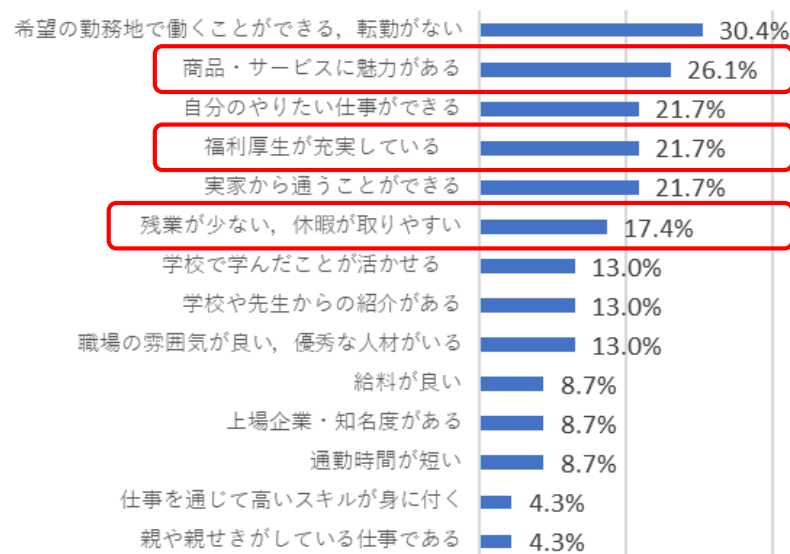
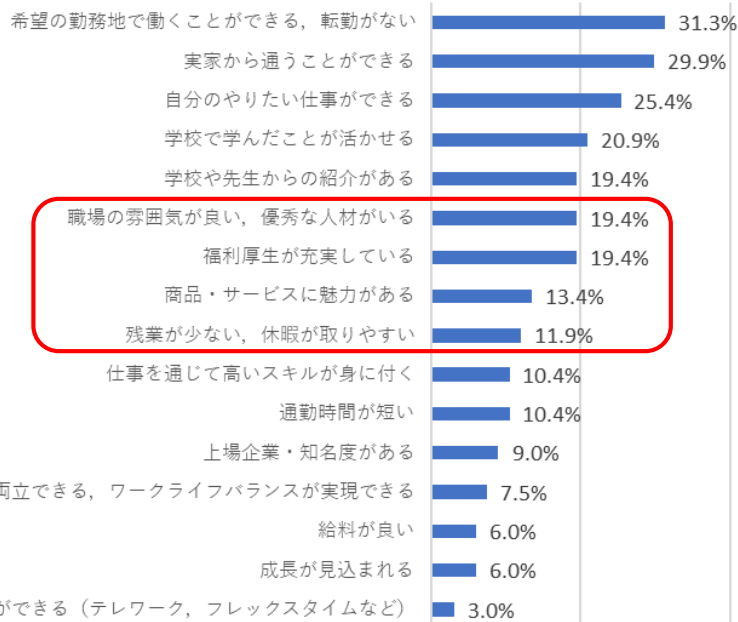
【勤務先を決めた理由（最大3つ選択）】

- 「希望の勤務地で働ける，転動がない」「実家から通える」「自分のやりたい仕事ができる」といった意見が多い。
- また，**職場の雰囲気や福利厚生**の充実，**残業時間や休暇**についても，**勤務先を決める上で重視**されている。



【うち広島・岡山県外の大学等の卒業者（UIターン）】

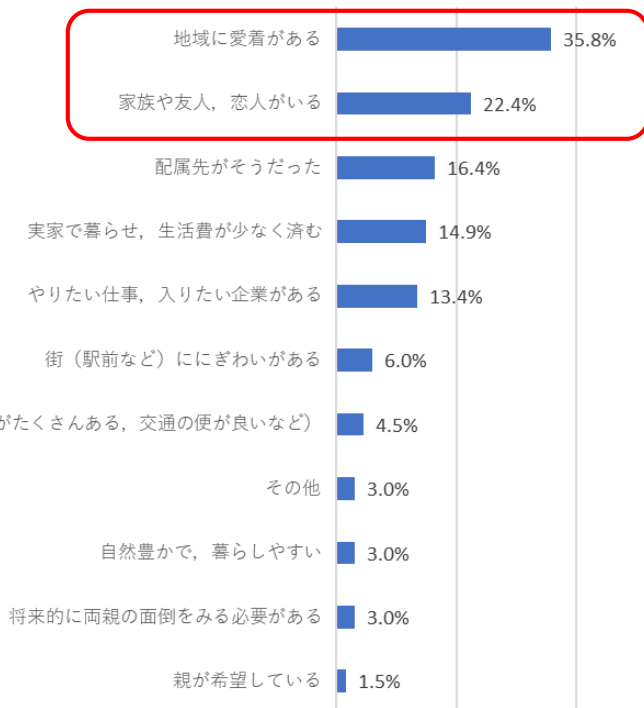
- 全体と比べて「**商品・サービスに魅力がある**」と回答した人の割合が多い。
- また，**福利厚生**の充実，**残業時間や休暇**についても**重視**されている。



2-3. 新卒採用後5年以内の従業員の声

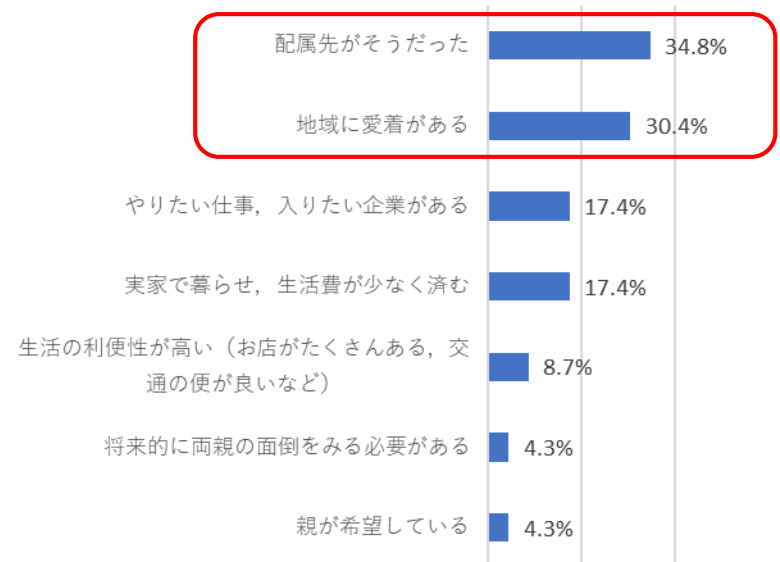
【勤務地としてこの地域を選んだ理由 (最大3つ選択)】

- ・「**地域に愛着がある**」「**家族や友人・恋人がいる**」「**実家で暮らせ生活費が少なく済む**」といった理由が多い。
- ・また、「**配属先がそうだった**」「**やりたい仕事・入りたい企業がある**」と回答した人の割合も多い。



【うち広島・岡山県外の大学等の卒業者（UIターン）】

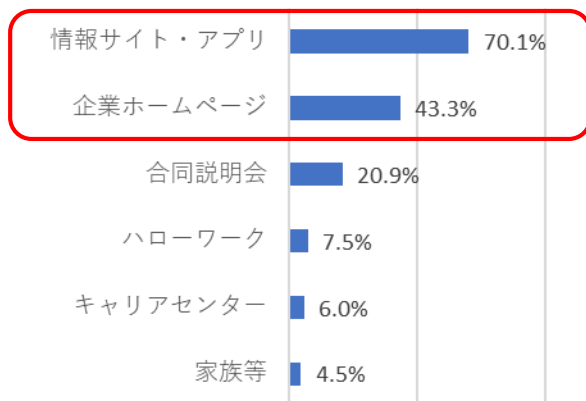
- ・広島県・岡山県外の大学を卒業した者については、「**配属先がそうだった**」と回答した人が3人に1人の割合でいる。
- ・次に約3割が「**地域に愛着がある**」と回答しており、「**やりたい仕事・入りたい企業がある**」「**実家で暮らせ生活費が少なく済む**」といった回答も多かった。



2-4. 新卒採用後5年以内の従業員の声

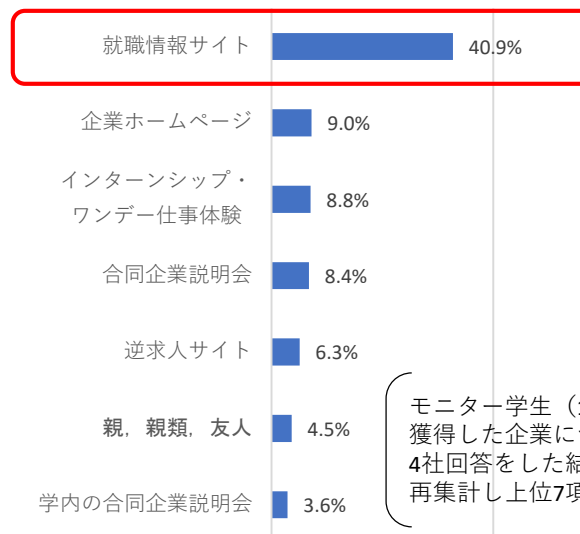
【勤務先を探す際に重要だったもの (最大3つ選択)】

- マイナビなどの情報サイト・アプリについては7割の人が重要だったと回答している。
- 次に、企業ホームページや合同説明会が重要だったと回答している人が多い。



【参考】内々定先企業の主な発見ツール (一部抜粋) (マイナビ2023年卒学生就職モニター調査2022年6月実施)

- 内々定先企業の発見ツールとして、「就職情報サイト」と回答した割合が多い。



モニター学生(1,843人)が内々定を獲得した企業について1人当たり最大4社回答をした結果を社数ベースに再集計し上位7項目を抜粋。

【参考】福利厚生で注目したポイント (MA) (一部抜粋) (マイナビ2021年卒学生就職モニター調査(2020年8月実施))

- 企業の福利厚生で注目したポイントは、家賃補助が最も多く約3分の2の学生が注目している。
- また、リフレッシュ休暇や独自の休暇制度、育児支援についても注目度が高い。

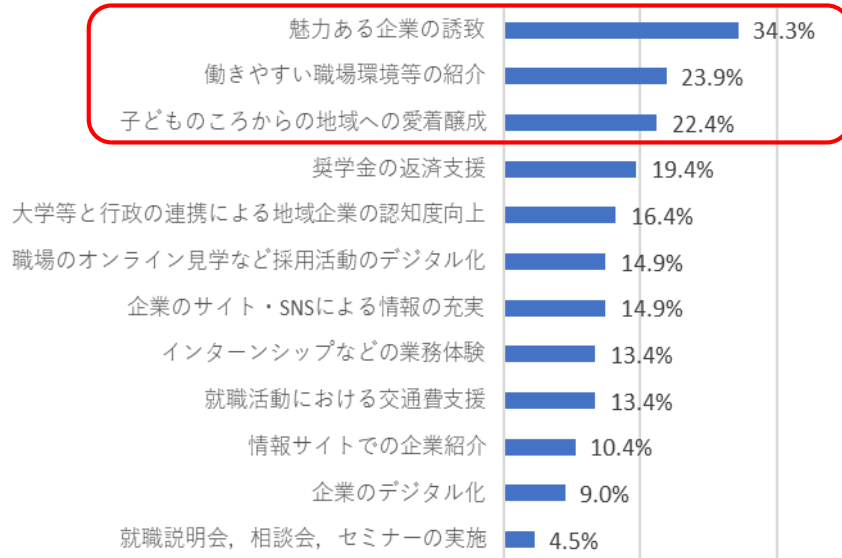
モニター学生(1,593人)回答した24項目のうち回答数が多かった9項目を抜粋

福利厚生の種類	回答率
家賃補助	66.9%
通勤交通費の支給	46.2%
社宅・社員寮	45.7%
リフレッシュ休暇	39.0%
資格取得補助・資格手当の支給	37.2%
独自の休暇制度	28.9%
育児支援	28.8%
在宅勤務・テレワークなどの実施	27.0%

2-5. 新卒採用後5年以内の従業員の声

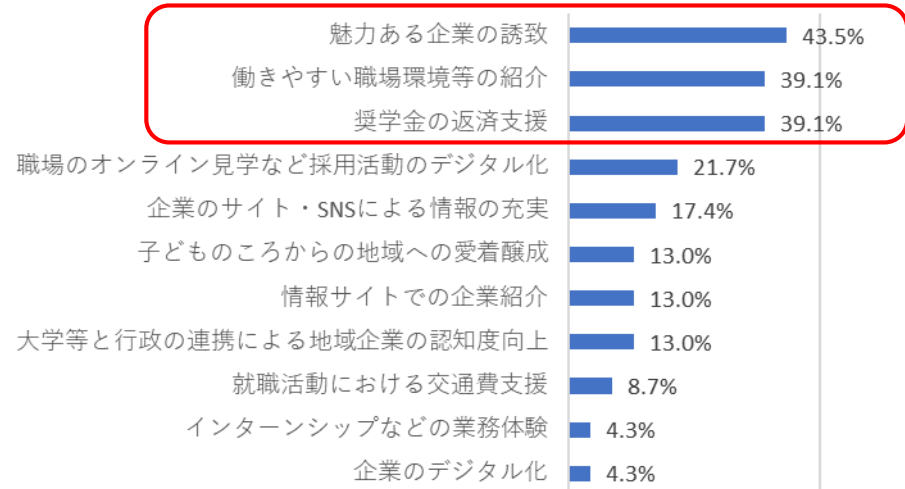
【実際に社会人になって福山市・府中市の企業に就職する際に不足していること
(最大3つ選択)】

- ・「魅力ある企業の誘致」と回答した人の割合が3割を超えている。
- ・「働きやすい職場環境等の紹介」や「子どものころからの地域への愛着醸成」が不足していると回答している人の割合も多い。



【うち広島・岡山県外の大学等の卒業者 (UIターン)】

- ・「魅力ある企業の誘致」と回答した人の割合が4割を超えている。
- ・次に、「働きやすい職場環境等の紹介」と「奨学金の返済支援」の回答割合が多い。



2-6. 新卒採用後5年以内の従業員の声

【学生が福山の企業を選ぶために有効なこと（自由記述）】

<意見が多かったもの（テキストマイニング抽出）>

休日制度など福利厚生の充実

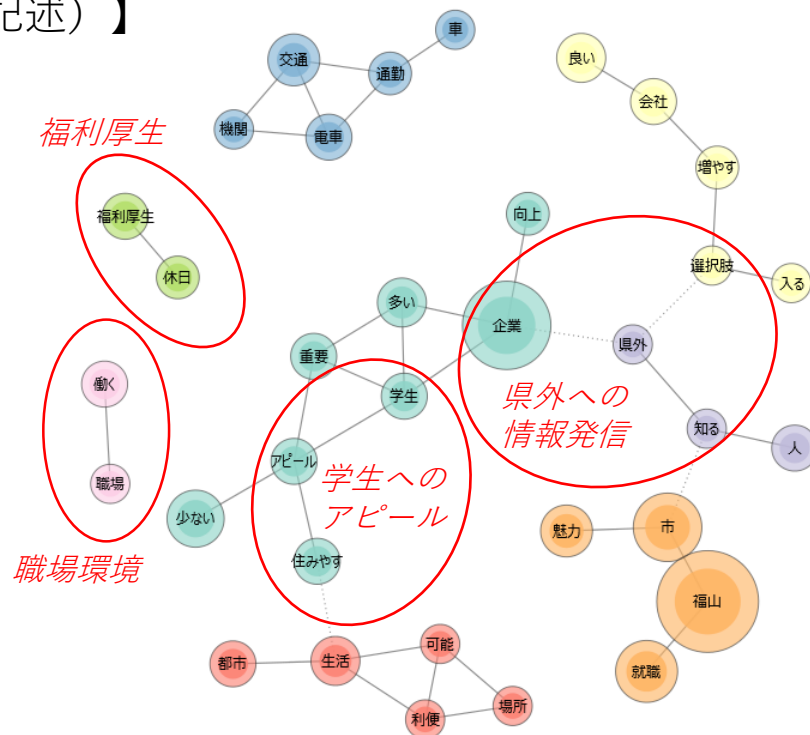
企業の魅力や都市の魅力（住みやすさ）の向上と学生へのアピール

職場環境の向上

県外への企業の情報発信（選択肢を広げる）

※テキストマイニング

SNSやアンケート回答など自由な形式で記述されたもの、また、座談会の議事録など(定性データ)について、キーワード出現頻度や相関関係などを分析し、有益な情報を探し出すもの。



○主な女性意見

- ・ 就職活動では主にマイナビ等を利用している学生が多い。その中で福山の企業は地域の合同説明会及びその企業のホームページでしか情報が手に入らないことが多く県外の学生は認知しづらい。
- ・ 最近の若者は昔に比べてよりワークライフバランスを重要視しているため、年間休日などの福利厚生の充実が必要。

○主な男性意見

- ・ 多種多様な魅力的な企業を増やすことが重要。
- ・ コアタイム制や週休4日制など柔軟な働き方の選択肢を増やすべき。
- ・ 学生は就職後の生活も重視しているため、福山という都市の住みやすさや魅力についてアピールすることが必要。
- ・ 福山市にどんな企業があるのかほとんど知らなかったため、幼いうちから身近に企業のことを知る機会が必要。

2-7. 子育て世代の従業員の声

子育て世代の従業員を対象としたアンケート調査

対 象：福山地方雇用対策協議会会員企業の従業員

回答状況：107人

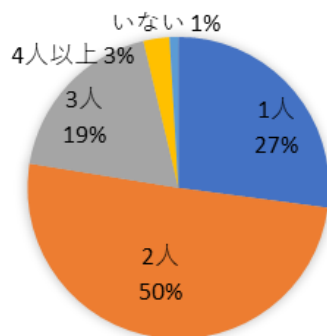
回答属性：年代（20歳代6人，30歳代47人，40歳代42人，50歳以上12人）

性別（男性62人，女性44人，回答なし1人）

実施時期：2022年9月1日～9月16日（16日間）

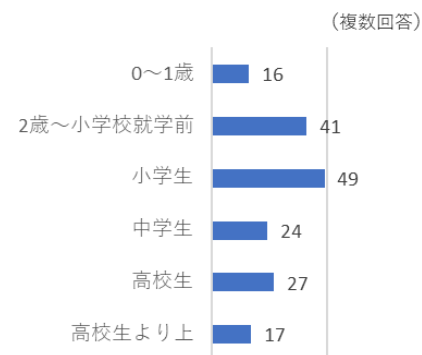
【子どもの数（SA）】

- 1人と回答した人が約3割
- 2人と回答した人が約5割
- 3人と回答した人が約2割



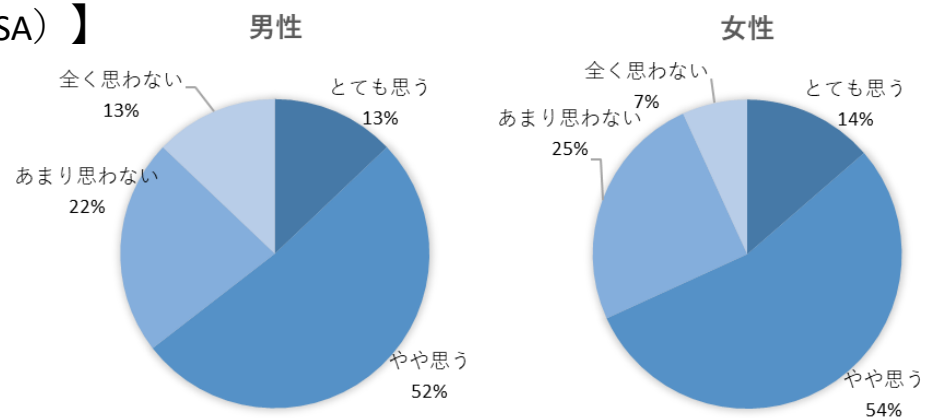
【子どもの年齢（MA）】

- 回答者の子どもの年齢層は、2歳～小学校就学前、小学生と回答した人が多くなっている。



【仕事と子育ての両立が出来ていると思うか（SA）】

- 男性・女性ともに「とても思う」と回答した割合は1割程度
- 男性は女性と比較して両立が全くできていないと回答した人の割合が高くなっている。



2-8. 子育て世代の従業員の声

【仕事と子育ての両立を進める中で困っていること（自由記述）】

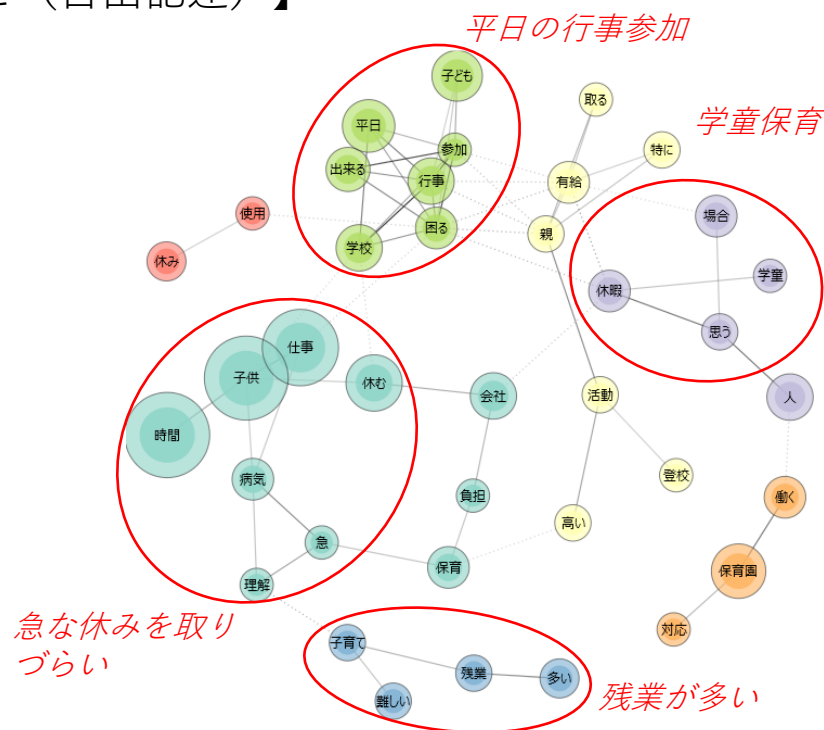
<意見が多かったもの（テキストマイニング抽出）>

学校などの行事参加が平日は難しい

子どもが急に病気になった時などの
会社の休みづらさ

残業が多く勤務先の子育てへの理解がない

学童保育について終了時間や夏季休暇中の
開始時間が不便



○主な女性意見

- 子どもが病気になった際など、周囲の社員や経営者に言いづらい。
- 学校・保育園の行事が平日に集中していて参加が難しい。
- 放課後児童クラブが18時までに迎えに行かないといけないので時間的に厳しい。また、長期休暇中の開始時間では会社の始業時間に間に合わない。

○主な男性意見

- 時短勤務等の制度はあるが、使用すると自分の仕事が溜まるだけで使用しづらい。そのため平日は子どもと話す（接する）時間が短くなっている。
- 平日の参観日、学校行事に積極的に参加出来ない。
- 病院に連れていきたい時に困る。残業が多く、子育てがワンオペになっている。

2-9. 子育て世代の従業員の声

【仕事と子育ての両立に向けて企業に期待すること（自由記述）】

<意見が多かったもの（テキストマイニング抽出）>

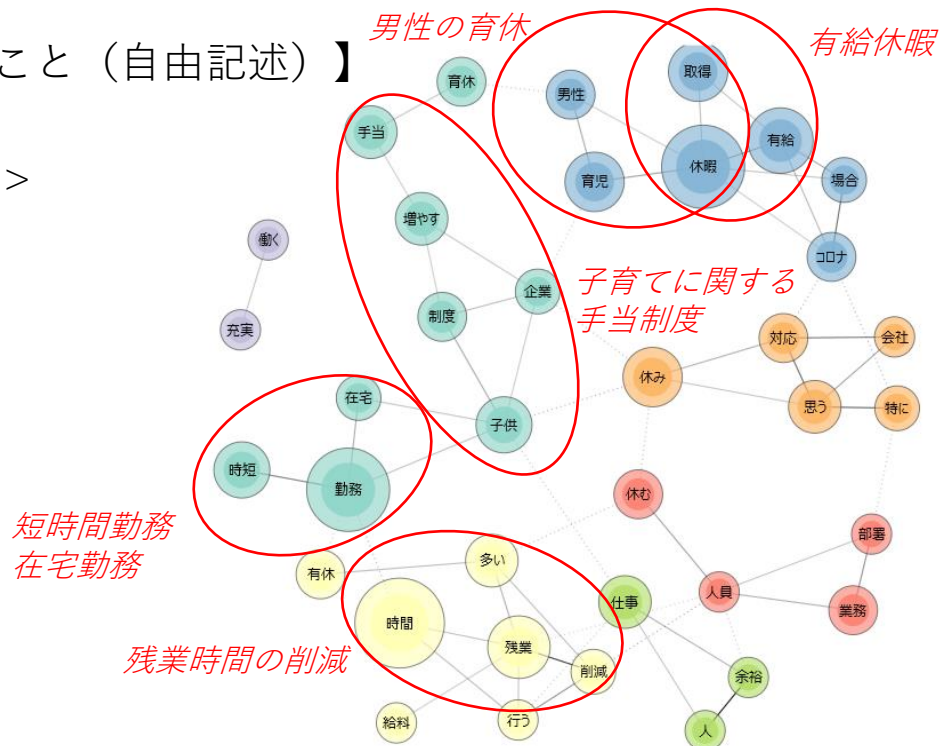
残業時間の削減

在宅勤務や短時間勤務など柔軟な働き方

子育てに関する手当制度の充実

男性の育児休暇の取得

有給休暇の取得



○主な女性意見

- 男性が育児休暇を取りやすい雰囲気づくりや休んでも安心という体制を作してほしい。
- 企業側の人員削減も分かるが、一人当たりの業務量が増え、休みを取りづらい。
- 時短勤務や育児手当，看病休暇，託児所などがあると両立しやすい。
- 時短勤務制度を小学校3年までから6年までに延ばしてほしい。
- 子どもが長期休暇中は，時短勤務が可能になるよう選択肢を拡充してほしい。

○主な男性意見

- 男性も育児休暇が取得しやすくなるような風土と体制づくりが必要
- 短時間勤務制度の拡充。現状3歳まで2時間，3歳から小学校入学まで1時間と短時間にできる時間が限られている。
- 子育てのしんどさに子どもの年齢は関係ないと感じている。
- こどもの急な発熱や病気等で早退できるといいのだが中々難しい。

2-10. 子育て世代の従業員の声

【仕事と子育ての両立に向けて行政に期待すること（自由記述）】

経済的負担の軽減

<意見が多かったもの（テキストマイニング抽出）>

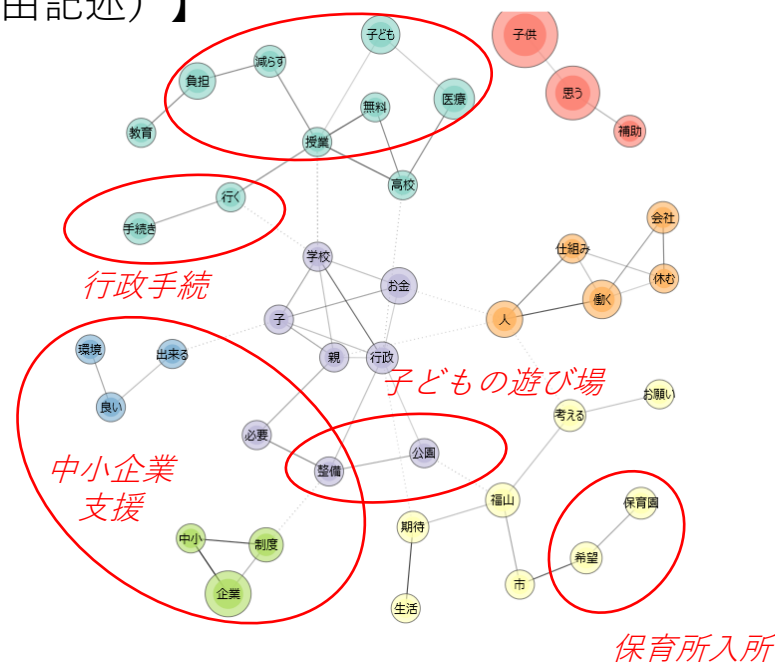
希望の保育園への入所

子どもの遊び場の充実

行政手続の柔軟化

中小企業への支援（働く環境の整備，休暇取得などのワークライフバランスの推進）

子育てに係る経済的負担の軽減（医療費・教育費）



○主な女性意見

- 市役所に直接行かなくてもいいような手続を増やしてほしい。
- 男性の育児休暇取得の推進が必要
- 子どもを出産したいと思える環境づくりを期待している。
- 子どもの医療費の支援（義務教育期間は無料等）
- 高校進学時の費用（授業料，教材費等）を減らしてほしい。

○主な男性意見

- 息子が1歳になった時点で入所希望だったが保育所が決まらないので何とかしてほしい。
- 福山市は子どもが遊ぶ所が少なすぎる。公園はあるが、それ以外がない。
- 行政手続の休日対応やWeb対応が必要
- 屋根付き公園（遊具施設）の整備が必要

2-11. 子育て世帯を対象とした座談会での意見

子育て世帯の座談会（みんなのライフスタイル応援会議特別企画）

対 象：みんなのライフスタイル応援会議構成企業・団体の対象者，行政職員

参加者：12人（㈱オーザック，㈱サンエイ，中国宣伝企画㈱，福山商工会議所青年部，福山市立大学教育学部，福山市企画政策課・産業振興課・ネウボラ推進課職員）

日 時：2022年8月4日（木）15:00～16:30 開催方法：オンライン（Zoom）

【主な意見】

①企業における仕事と子育ての両立の状況

- ・ 企業全体で働き方改革を推進しないと，夫婦のどちらかにしわ寄せがくる。
- ・ 働き方改革が進むか否かは経営者の柔軟性が非常に重要。

②子育てと仕事の両立に向けて行政に望むこと

- ・ 育児・介護休業法が変わり，男女とも育児休業を取得しやすい雇用環境に向けて，研修の実施や相談窓口の設置など，取組へのサポートの充実が必要。

③子育てと仕事の両立で困っていること

- ・ 中学・高校・大学など進路が多岐にわたってくるタイミングでの経済的負担が大きい。
- ・ 保育園が第3希望まで入れずに困っている。また，夏休み中の放課後児童クラブは朝8時半まで開かないので，仕事に9時過ぎでないと行けず，子育てとの両立が難しい。

④理想の子育てをするために必要なこと

- ・ 学生が地元で愛着を持つためには，学校教育にも力を入れるべき。
- ・ 福山で働く魅力を子どもや学生に伝えることが必要。

2-12. 意識調査のまとめ

【新卒採用後5年以内の従業員】

- 勤務先を決める理由は、「希望の勤務地で働ける」や「自分のやりたい仕事ができる」に加えて、「職場の雰囲気」「福利厚生充実」「残業時間や休暇」を重視。
- 全国の就職活動生への調査では、福利厚生で注目したポイントとして、「家賃補助」への注目が最も高く、「通勤交通費の支給」「社員社宅寮」「資格取得補助等」等の経済的な支援が上位を占める。また、「リフレッシュ休暇」や「独自の休暇制度」「育児支援」などのワークライフバランスにつながる項目も注目度が高い。
- 福山地域の企業に不足していることは、「魅力ある企業の誘致」が最も多く、次いで、「働きやすい職場環境等の紹介」という意見が多い。広島・岡山県外の大学を卒業した者では「働きやすい職場環境等の紹介」「奨学金の返済支援」の割合が高くなる。
- 勤務先を探すための重要なツールとして「情報サイト・アプリ」と回答する割合が高いが、一方で、福山地域の企業は、合同説明会やその企業のホームページでしか情報が手に入らないといった意見もある。
- 福山の企業を選ぶために有効なこととして、「福利厚生の充実」「企業の魅力や都市の魅力（住みやすさ）の向上・学生へのアピール」「県外への地元企業の情報発信」の意見が多い。

キーワード整理

- 福利厚生（経済的な支援、ワークライフバランス）
- 働きやすい企業・職場環境のPR（地元・県外学生への発信）
- 都市の魅力（住みやすさ、交通の利便性など）の向上とPR

2-13. 意識調査のまとめ

【子育て世代の従業員】

- 夫（男性）が育休や子育てのための休暇が中々とりづらい状況。**男性の育児休暇取得の推進が重要。**また、**働き方改革が進むかどうかは、経営者の柔軟性が非常に重要。**
- 男性の育児参加に関する企業の取組へのサポートが必要ではないか。
- **残業の抑制や休暇の取得促進など、働きやすく子育てしやすい環境整備が必要。**
- 仕事をしながらでも**安心して子どもを預けることのできる環境整備が必要**（希望保育所への入所・放課後児童クラブの預かり時間・病児保育の充実など）。
- 市役所の手続の休日対応やオンライン対応を充実できないか。
- **子どもの遊び場の充実が必要。**
- 学生が**福利厚生や働きやすい市内企業を認知できるよう、啓発の充実が必要。**助成制度などの**有益な情報は、広く効果的に伝わるように情報発信してほしい。**
- 福山には良い企業が多くあるが、小学生から大学生に知られておらず、もったいない。
- 学生が**地元**に愛着を持つためには、**学校教育に力を入れるべき。**

キーワード整理

- **男性の育児参加の促進**（休暇取得しやすい風土づくり，経営者へのアプローチ）
- **安心して子どもを預けることができる環境整備**（保育所，放課後児童クラブ）
- **子どもの遊び場の充実**
- **市内企業の認知度向上**（福利厚生，働きやすさ，企業の特徴・魅力）

3 次年度の人口減少対策の方向性（案）

3 - 1. 人口減少対策の強化ポイント

1 学生の地元定着を促進する

- ① **働きやすい企業・職場環境の情報発信強化（地元・県外学生へのPR）**
 - ・ 福利厚生（経済的な支援，ワークライフバランス）の啓発の充実
- ② **都市の魅力の向上とPR**
 - ・ 駅周辺のにぎわいや地域の活力創出，魅力的な暮らしの発信
- ③ **地元への愛着を高めるための教育**
 - ・ 福山の魅力や産業，地元企業の特徴など学びの提供

2 子育てに喜びを感じることができる環境を整える

- ① **「あのね」の強化**
 - ・ 専門性の高い相談に対応できるスキルの向上
- ② **多様化する保育ニーズへの対応**
 - ・ 保育人材の確保，待機児童の解消
- ③ **家族時間を楽しめる場の創出**
 - ・ 誰もが安心安全に楽しめる公園遊具の整備
- ④ **仕事と子育ての両立支援**
 - ・ 保育環境の整備，男性の家事育児参加の促進

4 子育てパパ活躍ウィーク2022の実績（速報）

4 - 1. 子育てパパ活躍ウィーク2022の実施状況（速報）

※2022年11月22日時点

実施期間

2022年（令和4年）11月3日（木）～23日（水）

実施状況

期間中、企業は従業員への休暇取得・早めの退社を促すとともに、市内各地で親子で参加できる楽しいイベントを開催。

子育て応援企業：9社

実施イベント数：7件

11/12 びんごキッズラボ

開催日時：11月12日（土）10：00～16：00

内容：サイエンスショー、プログラミング体験、ドローン操縦、AR砂場体験、VRおえかきなど

約700人
参加



11/5,13,20

みんなで英語絵本を楽しもう／ みんなの英語絵本となかよし講座

内容：英語絵本の読み聞かせ／
英語絵本の楽しみ方・紹介

主催：ふくやま国際交流協会

11/6 パパと一緒に“おいしいね” のお口つくろ♪プロジェクト

内容：お口の機能を育むことを応援する体験型プロジェクト
主催：よしだ歯科

11/4-22

パンマルシェキューキュー パン食べ放題1割引

内容：パパ含む家族で来店でパン食べ放題1割引
主催：社会福祉法人アンダンテ

11/20 パパと一緒に“BABY PARTY”

内容：ベビーケア、バランス感覚遊び、木の作品づくり
主催：山根木材ホーム（株）、
子育て支援コミュニティ「テラスココン」

11/23 赤ちゃんと一緒に遊ぼう

内容：赤ちゃんと一緒に遊ぼう
主催：大きな木の下で

参考 これまでの人口減少対策の取組

※別紙資料2を参照